

月号

知床博物館第29回特別展「知床のシダ」

10月27日(土)～12月16日(日)

斜里や知床では植物の種類
の約1割をも占めているシダ
植物。ツクシやスギナ、コゴミ
やワラビなどが身近ですが、
そもそもシダ植物とはどんな
生き物なのでしょう。今回の
特別展はシダの秘密にせま
ります。特別展にあわせて知
床のシダ図鑑も発行します。



知床博物館特別講演会

11月11日(日) 梅沢俊スライドショー「シダ1年生」

北海道を代表する植物写真家・梅沢俊氏による
スライドショーを開催します。花の写真や図鑑で
有名な梅沢氏、今回はシダをメインに紹介します。
写真家の眼を通して見た不思議なシダの世界をお
楽しみください。

- 15:30～17:00 ● 会場：博物館2F映像展示室
- 参加費：無料 ● 申込必要

シダの観察会 報告



マッカウス洞窟で岩から垂れ下がるシダを観察

9月9日に開
催された観察
会は、当初予定
されていた藻
琴山から羅臼
岳羅臼側登山
道付近へと場
所が変更にな
りました。これ
は内田学芸員

が下見をして判断したものです。その選択が当た
り、当日は羅臼側のみ快晴でした。バスの中では自
己紹介に続き、佐藤利幸先生(信州大教授)が一
人の参加者に似たシダの名前をつけてくれました。
ひかりごけで有名なマッカウス洞窟周辺と羅
臼岳登山道(里見台まで)で合計40種類のシダを
確認。これは日本でもかなりの高密度とのこと
でした。登山道では、ナナカマドの実が混じったクマ
の糞や、ダケカンバの幹で日向ぼっこするカナヘ
ビ(博物館のホームページに写真)も見られまし
た。シダの名前を一つも知らなかった私でさえ5
～6種類は名前と姿が一致するようになりました。
和気あいあいとした楽しい観察会でした。

翌日のニュースで「シビイタチシダ」が取り上げ
られていましたが、勉強したばかりだったので、興
味深く聞くことが出来ました。

(ホテイシダことひら 記)

「草取りボランティア」

10月10日(水) 6:00～8:00

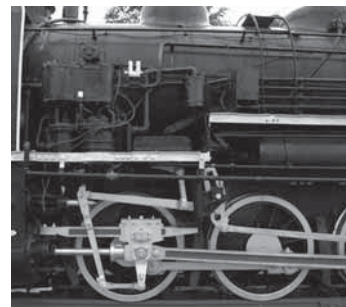
6月から毎月実施してきた草取りも、おかげさ
ま、今年も残すところ後1回となりました。たくさん
のご参加、ご協力お願いいたします。

10月の博物館講座

10月14日(日) 蒸気機関車を知ろう

大正・昭和の時代に釧網線を走り続けた蒸気機
関車(SL)。ゆめホール知床の前庭には9600型蒸気
機関車が当時のままの姿で保存されています。こ
の貴重なSLを使って、石炭を燃やして走るしくみ
や運転席に乗って運転の仕方などを学びます。整
備点検の体験や「汽笛を鳴らす」ことにもチャレ
ンジします。

- 9:30～11:30 ● 場所：ゆめホール知床前庭 展示
SL前 ● 定員：20名(幼児は父兄同伴)
- 参加費：大人200円 ● 指導：SL保存会会員



10月20日(土) 宝石を磨いてみよう

北海道で産出する白滝の黒曜石や神居古潭のヒ
スイでネクタイピンかブローチを作ります。自分
の手で削り、磨き、自分だけの宝石を作ってみま
しょう。

- 9:30～11:30と13:30～15:30 ● 定員：各4名
- 参加費：大人200円、小中学生無料
- 材料費：300円 ● 担当：合地学芸員

10月20日(土) 秋の星座観察会

天体ドームの大型天体望遠鏡でアンドロメダ大
星雲、おうし座のすばる、上弦の月のクレーターを
観察します。寒くない服装でおいで下さい。

- 19時博物館集合 ● 定員：20名(要申し込み・小
学生以下父兄同伴) ● 担当：合地学芸員 雨天順延

※9月号に「秋の星座観察会」と「宝石を磨いてみよう」の
日程を27日とありましたが、どちらも20日に行います。
お間違えのないよう、お願いいたします。

11月の博物館講座

11月11日(日) オオワシの渡り観察会

11月はオオワシの渡りシーズンです。知床の海
岸を岬に向かって次々に渡って行きます。

- 場所：斜里町知布泊漁港 ● 担当：中川館長
- 詳細は来月号で 雨天中止